



三ヶ尻隆雄議員

産業振興

# バランスの取れた産業振興策を 効果的な振興施策を実施

**質問** 町民所得を向上させるため、一次・二次・三次産業が総合的にバランスの取れた政策が必要であると思うがどうか。

**沼崎町長** 市町村の産業振興施策は、国の政策展開のように満遍なく厚く行うことは大変困難である。また、近年、国・県においては選択と集中を基本に効果的な施策の展開を目指している」と理解している。  
本町の景気を左右するのは、旧来から一次産業の水産業ととらえ産業振興の基本に据えているが近年これに加え生産拡大、雇用拡大

の動きが見える誘致企業を含めた二次産業の存在も重要であると認識している。特にも、給与所得者の増加には町民所得を押し上げる傾向がみられる。これら一次・二次産業の活況で従事者の所得向上が図られ三次産業に連鎖的に波及し総体的に各産業の振興が図られることに期待している。

一次、二次、三次産業は、相互に関連し合い相乗的に振興できると考えており、今後とも国・県の施策も勘案し町の産業全体が活性化するように効果的な産業振興施策を模索し実施していく。

## 産業振興

### 魅力発信事業の継続を

### 沿岸圏域の産業振興策として継続

**質問**

- ① 日本一の肉牛生産農家の更なる育成について。
- ② シイタケ生産者に付加価値を付けた高価販売の更なる支援策を。
- ③ 「山田の魅力発信事業」

は、来年度以降も継続できるか。

**沼崎町長**

- ① 今後とも生産農家、生産者団体や関係機関と連携し支援していく。
- ② 「しいたけ等特用林産物



地域活性化の起爆剤となっている「山田の魅力発信事業」

生産施設整備事業」の導入を図りながら生産量確保の支援に努めている。

生産農家、生産団体や関係機関と連携し、付加価値を高め販売ルートの開拓を図り生産意欲の向上と生産拡大に努める。

③ 県の補助金制度の見直しで、来年度以降の事業継続が危ぶまれていたため、県の支援制度の継続と拡充を要望してきた。その結果、県北・沿岸圏域の産業振興策として継続の可能性がでてきた。

## 町の考えを聞く